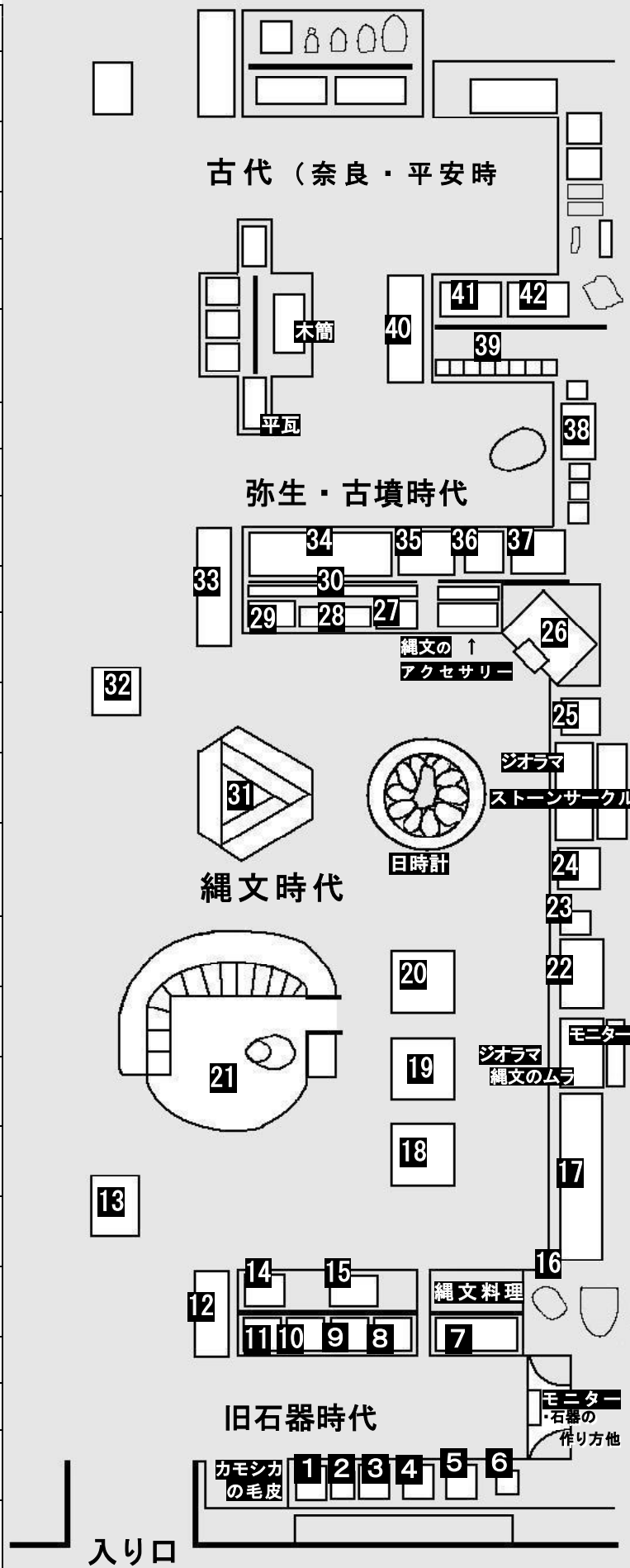


人文展示室 ～ 主な考古学用語

番号	名前	説明
旧石器時代		
	私たちの祖先が、石器を作って使うようになった時代。まだ土器は作れなかった。1万3000年以上前の大昔。	
1	頁岩	泥や粘土が水中に沈んでかたまつた岩。本の頁のようにうすく割れやすい性質があるため、石器の材料になる。
2 4	石核	石を割って石器を作ったときに残った、もとの石の部分。
3	台形様石器	台形石器より古い、台形に近い形、または三味線のぼちのような形をした石器。
4 5 6	台形石器	旧石器時代の終わりごろに作られた、台形の形をした2cmぐらいの小型石器。このころになると同じ石のかたまりから同じ形の石器をたくさん割り取るわざが見られる。
7	剥片	石器を作ったときにでた石のくず。
7 8 12	ナイフ形石器	するどくした石の一つの辺を刃にしたナイフのような石器。
9	搔器	皮をなめしてやわらかくするときなどに、ひっかくように使ったと考えられる石器。
10	彫器	木やほねにみぞをほるときに使われたと思われる石器。
11 13 17	石斧	石で作ったおの頭の部分。木をきったり割ったり、地面に穴をほったりして使ったと考えられる。
12	尖頭器	旧石器時代の先のとがった石器。やりの先に使われたものが多いと考えられる。
12	石槍	石で作ったやりの頭の部分。つるなどでぼうに結びつけた。落とし穴に落ちた動物をこれでさしてしとめた考えられる。
13 17 25 他	磨製石器	石をすりへらし、みがいて作る石器。旧石器時代の終わりごろから作られ始め、縄文時代、弥生時代から古墳時代ごろまで使われた。(←18打製石器)
縄文時代 約1万3000年前～		
14 30 33 他	漆塗	漆の木の皮に傷をつけて集めた樹液(木のしる)を土器や木の道具などにぬったもの。
15	加工材	人が手を加えた木。縄文人が石器などで、自然の木を切つて、家の柱や木の道具を作っていたことが分かる。
16 17 28 他	石皿	皿と言っても食器ではなく、磨石でドングリやトチなどの木の実をすりつぶすとき、台にして使ったと考えられる。
18	石匙	形から匙と名付けられたが、スプーンではなく、持ち運びできる万能ナイフとして使われたと考えられる。
	石篋	木やほねを切ったり、皮をなめしてやわらかくしたり、小さなあなをほるのに使ったと思われる。
	打製石器	頁岩などの石をうすくわって作る石器。(←13磨製石器)
19	掘り棒	地面に穴をほるときに使われた道具と考えられている。
	石錘	魚をとるあみを水にすずめるおもり。上下のくぼみや穴は、むすびやすくするためにつけたものと思われる。
	浮子	魚をとるあみに結びつけて、あみをすずめた場所の目印として水面にうかべたもの。水にうくよう軽石や木で作った。



番号	名前	説明
20	石鏃	矢じり。矢の先の部分。根本に出っぱりのある(有茎石鏃)の方が新しい。
21	竪穴住居	地面に穴をほって、土間のようにした所に柱を立て、屋根をかけた家。縄文時代から奈良時代ごろまで作られた。
22	黒曜石	「天然ガラス」ともよばれる黒っぽい火山石。石器の材料になる。うすくわると、とてもするどくなる。
22	天然アスファルト	地上にしみ出た石油がじょう発したときの残りかすが変化してできる、黒くてねばりの強い物質。縄文時代は接着ざいとして使われた。今も道路のほそうなどに使われる。
23	ヒスイ(翡翠)	宝石にもなる緑色の石。勾玉の材料にも使われる。
	コハク(琥珀)	松やになどの樹脂が土の中で化石になったもの。黄色や赤、茶色っぽい半透明のものがある。アクセサリーの材料。
27 28 他	土製品・石製品	「土(石)で作ったもの」という意味。何に使ったかは不明。
24	片口土器	口の片方に出っぱった注ぎ口がある土器。
25	土塚墓	土に穴をほって死んだ人をうめたお墓。
	副葬品	亡くなった人といっしょにお墓にうめた品物。
25 他	勾玉	玉が曲がった形のアクセサリー。縄文～奈良時代ごろまで作られた。ひもを通して、たくさんつなげることもあった。
26	貝塚	縄文時代のムラで、貝がらや骨など、食料の残りかすを捨てた場所。近くに人のお墓が作られることもある。
27 他	土偶	土でつくられた人形。ほとんど全部が女性。お祭りやおまじないのために作られたと考えられている。
27 28 他	岩偶	土でつくられた土偶に対して岩や石で作られた人形。
28	石棒	丸くみがいて棒のような形にした石器。
	石冠	左右が同じ形で、「冠」と名前がついたが、頭にのせたものではないと考えられる。
	岩版・土版	石や土で作った「おふだ」のようなものか?
30 31 他	注口土器	急須のような注ぎ口がある土器。
弥生時代 約2300年前～		
37	石包丁	弥生時代、稲をかるのに使った半月形の石器。2つの穴にひもを通し、指をかけて使ったと考えられる。
38 39 他	鉄器	鉄でできた道具。弥生時代に大陸から伝わった。
古墳時代 約1700年前～		
39 41 42 他	土師器	古墳時代から奈良時代ころに作られた素焼きの土器。弥生土器に比べて、赤っぽいものや黒っぽいものがある。
39 40 42 他	須恵器	朝鮮半島から伝わってきた青っぽい灰色の土器。ろくろで形を作り、かまに入れて高温で焼く、古墳～平安時代ごろまでの土器。秋田県では奈良時代になってから作られた。